

日本内分泌病理学会理事会 議事録

日時：2015年4月23日（木）17:00～18:30

場所：ホテルニューオータニ ガーデンタワー5F（宴会場階）やまぶき

出席者：山田正三 理事長、笹野公伸 副理事長、島津 章、方波見卓行、屋代 隆、
成瀬光栄、加藤良平、戸田修二、吉本勝彦、亀山香織、田辺晶代、
岡本高宏、近藤哲夫 の各理事
松野 彰、柴田洋孝 の各監事、長村義之 顧問

欠席者：なし

議題：

<審議事項>

1. 理事長推薦理事の資格要件の件 -----理事長・島津（庶務）
*定款第12条（役員を選任）改訂の必要性について
2. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の候補者の件 -----理事長
3. 学会名称の変更の件 -----成瀬
4. 日本下垂体研究会（2016年国際シンポジウム、ハワイ）への対応の件
-----屋代（広報）
5. 今後の活動計画の件 -----理事長・副理事長・加藤（企画学術）
*日本病理学会（仙台）における内分泌病理サテライト教育コースの開催について
*韓国との内分泌病理セミナーの開催について
6. 北米の内分泌病理学会との連携の件-----理事長・副理事長・加藤（企画学術）
*President of EPS2017の推薦について

<報告事項>

7. 第18回（2014年度）学術総会の報告（決算を除く） -----屋代（当該会長）
8. 第19回（2015年度）学術総会の概要 -----戸田（当該会長）
9. 第20回（2016年度）学術総会の準備状況 -----松野（当該会長）
10. 第89回（2016年度）JES学術総会（島津会長）P委員会の結果
-----方波見（P委員）
11. 第91回（2018年度）JES学術総会代表P委員について -----理事長
12. コンサルテーションの状況 -----亀山（C委員長）
13. 会員の状況 -----島津（庶務）
14. 寄付趣意書のHP掲載及び寄付金実績について
-----理事長・屋代（広報）・方波見（財務）
15. 庶務委員会の解散について -----理事長

冒頭、山田理事長より、理事全員が出席しているので、本理事会は成立する旨報告があり、引き続き同理事長により議事進行が行われた。

<審議事項>

1. 理事長推薦理事の資格要件の件

・島津庶務理事より、定款第 12 条（役員を選任）の理事長推薦理事の資格明記について提案があり、下表の通り定款を改訂することとした。

改訂	現行
定款第 12 条： 第 1 項は変更なし 2. 理事長は必要に応じて、 <u>原則として評議員から</u> 若干名の理事を推薦することができるが、理事長推薦による理事は 3 名を越えないものとする。	定款第 12 条： 理事は、評議員の投票または理事長の推薦により評議員会及び総会の承認を得て選任する。 2. 理事長は必要に応じて若干名の理事を推薦することができるが、理事長推薦による理事は 3 名を越えないものとする。

2. 特別功労賞、佐野賞及び亀谷賞の候補者の件

・山田選考委員長より、応募のあった佐野賞及び亀谷賞各 1 件につき、審議経緯説明とともに、下記候補者を受賞者として推薦したいとの提案があり、それぞれ承認され決定した。なお、佐野賞受賞者への連絡にあたっては、選考委員会の意見を付けることとした。また、特別功労賞の推薦はなかった。

応募締切：2015 年 2 月末日

選考委員会（持ち回り審議）：2015 年 3 月 6 日～3 月 17 日

選考委員：副理事長、四筆頭理事、当該年度会長

（1）佐野賞

・井下尚子（虎の門病院）

テーマ：臨床的非機能性下垂体腫瘍の新たな組織分類の検討

（2）亀谷賞

・笠島敦子（東北大学）

テーマ：膵消化管神経内分泌腫瘍の臨床病理学的予後因子と新規バイオマーカーの検索

3. 学会名称の変更の件

・成瀬前理事長の提案で、学会の状況を見ながら判断するとの申し合わせにより、継続審議としてきたところであるが、秋の理事会までに各役員の意見を理事長に集約することとした。

4. 日本下垂体研究会（2016 年国際シンポジウム、ハワイ）への対応の件

・ワンセッションを JEPS が担当する共催シンポジウムとして参画することとし、屋代広報理事より、その旨下垂体研究会へ申し入れることになった。また、シンポジストへの旅費等の支給はないことを確認した。

5. 今後の活動計画の件

・笹野副理事長より、会員増加策の一環として、自らが会長を務める 2016 年日本病理学会（仙台）において「内分泌病理サテライト教育コース」を開催したいとの提案および講師

の協力要請があり、それぞれ了承された。会員には講義用ハンドアウトを無料配布とし、非会員には費用負担を願うなど、工夫をしたとのことであった。

・加藤企画学術理事より、国際病理アカデミーに関し、韓国から内分泌病理症例カンファレンスの共催依頼があったことが報告され、共催を了承した。

・岡本理事より、日本内分泌外科学会の教育講演の中で内分泌病理のテーマを採りあげたいとの意向が示され、これを了承した。

6. 北米の内分泌病理学会との連携の件

・President of EPS2017 について、当学会からの公式代表として笹野副理事長を推薦することとした。

<報告事項>

7. 第18回(2014年度)学術総会の報告

・屋代当該会長より、日本神経内分泌学会、日本ステロイドホルモン学会との内分泌学 Week2014 を開催し、三学会ともプラスの成果があったこと、また当学会参加者は141名であったことが報告された。決算については秋の理事会で報告される。

8. 第19回(2015年度)学術総会の概要

・戸田当該会長より、下記の概要が報告された。特別講演(1題)、教育講演(2題)、シンポジウム(3題)、ランチョンセミナーに(1題)等について案が示されたが、さらにブラッシュアップするとのこと。

日 程 : 2015年10月24日(土)~25日(日)

場 所 : アバンセ(佐賀県佐賀市天神三丁目2-11)

ホームページ : <http://www.nacos.com/jeps/>

演 題 締 切 : 2015年7月17日(金)の予定

※ 日本語、英語どちらでも可(様式はHPに掲載)

・同じく、研究賞選考委員3名に関し、山田理事、屋代理事、松野監事を提案され、それぞれ承認された。

・同じく、理事会は2015年10月23日(金)15:00~17:00、アバンセ、会長招宴は同日18:00~20:00(会場未定)との予告があった。

9. 第20回(2016年度)学術総会の準備状況

・松野当該会長より、日本神経内分泌学会(沖会長)との合同開催を下記の通り予定しているとの報告があった。

日 程 : 2016年10月13日~14日 日本神経内分泌学会

10月14日~15日 日本内分泌病理学会

10月14日夜 合同懇親会

会 場 : アクトシティー浜松

理事会 : 2016年10月13日夜

10. 第89回(2016年度)JES学術総会(島津会長)プログラム委員会の結果

・方波見プログラム委員より、当学会提案のテーマは約80%の高採択率であったことが報告された。これに伴い、プールしてきたテーマが残り少なくなったので、第90回(2017年度)用に提案要請があった。後日アンケートによりテーマを募集の予定。

11. 第91回(2018年度)JES学術総会代表プログラム委員について

・山田理事長より、田辺理事を推薦したとの事後報告があり、これを了承した。同理事は、第91回及び第92回の委員を務めることになる。

12. コンサルテーションの状況

・亀山コンサルテーション委員長より、依頼件数は順調に増加しているとの報告があった。
・コンサルタントへの謝礼を学会から支給するか否かについては、運用規定を踏まえて検討することとした。

13. 会員の状況

・島津理事より、2014年(4月初時点)の291名から2015年(同)の286名へ若干減少したことが報告された。会費長期未納者や退会者についての分析は秋の理事会で行う。

14. 寄付趣意書のHP掲載及び寄付金実績について

・山田理事長より、先に持ち回り審議で承認された寄付趣意書についての説明があった。
・同じく、帝人ファーマより2014年度の寄付があったこと、またイーライ・リリーへ2015年度の寄付申請を行っていることが報告され、新しい事業に活用したいとの意向が示された。

15. 庶務委員会の解散について

・山田理事長より、去る2010年12月に学会の活性化、会員増加、及び財務状況改善のための具体的提言を行うことを目的として庶務委員会を設置したが一定の成果が得られたこと、また役員改選により新体制となったことから、これを解散したとの事後報告があり、了承された。

以上

(記録：事務局・岸、理事長・副理事長・筆頭理事・会長：校閲済)